



野木町国際交流協会【NIA】

発行：野木町国際交流協会情報交流部 所在地：栃木県下都賀郡野木町丸林 571 野木町公民館内  
TEL 0280-57-4188 <http://nogitown.hacca.jp/> MAIL [wyamada@nifty.com](mailto:wyamada@nifty.com)

2024年4月10日発行



## 【12月の親睦会】

師走になり、日本語教室に通う生徒たちは、日々の忙しさに追われながらも、元気に日常を送っています。宗教や文化の違いから、彼らにとって12月31日が年末とは限りません。しかし、日本の習慣に則り、野木町国際交流協会のメンバーと共に年末の食事会を開催しました。この食事会は楽しいひと時でしたが、参加者たちが最も喜んだのは、外国人も日本人も関係なく楽しめるゲームの時間でした。

次回の師走も同様に、食事会を計画していますが、より多くの交流と笑い声が響くよう、ゲームを中心にした催しを企画したいと考えています。





## スピーチコンテスト



2月11日に行われた栃木市国際交流協会のスピーチコンテストに、野木町の日本語教室生徒のフジ・スクマエナさんが、参加しました。

参加者人数は、19名でしたが、平素の日本語の勉強の結果、フジさんは、準優勝のソロプチミスト賞を頂きました。

当日の様子は、栃木市国際交流協会のホームページ <http://www.tic-tochigi.jp/act/specon2023.html> に載っております。

また、フジさんには、3月10日に野木町公民館でスピーチを再現してもらい、改めて大会での感動を振り返りました。



### 【フジ・スクマエナさんの感想】

今回の日本語スピーチコンテストへの参加は、私にとって非常に貴重な経験でした。また、光栄なことにソロプチミスト賞を受賞することができ、その喜びはとて大きかったです。この素晴らしい経験は、一生忘れることができないものであり、これからの人生において私の力となるでしょう。



### こうみんかんまつ 【公民館祭り】

例年通り、一階ロビーでは、日本語教室の外国人生徒たちが、子供たちを相手に、じゃんけんゲームをしました。

二階では、生徒たちが撮った写真を展示して、来訪者の方たちに、出来栄の順位をつけてもらいました。

1位は、2つの写真が同数でしたが、どちらもスリランカの結婚式の写真でした。

スリランカの結婚式の衣装は、昔の王族が着ていた衣装ですので、とても華やかな雰囲気でした。



# 「言葉の壁を越えて：オーストラリア留学の冒険と学び」 By M.F.



日本からの長い飛行の末、約9時間後、私はオーストラリアのシドニーに到着しました。初めて足を踏み入れたその地で、まず感じたのは英語の洪水のようなものでした。

日本人として、文字も通じない言葉も理解できず、戸惑いの連続でした。しかし、その後の滞在で、オーストラリアの魅力に圧倒されました。ウロンゴン大学での日々は、日本とはまったく異なる動植物に囲まれ、驚くほど美しい海に触れることができました。日本では見られないような生き物たちや、透明度の高いクリアな海は、まさに絵画のようでした。

オーストラリアでの生活は、異文化に触れる新鮮な刺激とともに、大きな挑戦もありました。それは、ホームステイ先の家族や地元の人々とのコミュニケーションでした。言葉の壁を感じつつも、翻訳アプリや手書きのイラストを駆使して、自分の思いを伝える努力をしました。その過程で、お互いの文化や考え方に対する理解が深まり、貴重な学びとなりました。



現在は、野木町国際交流協会が日曜日に行っている日本語教室で講師を務めています。オーストラリアでの短期留学から得たこの貴重な体験は、外国人に日本語を教える際に大いに役立っています。相手の言葉や意思を理解し、分かりやすく教えることの重要性を再認識し、異文化間の架け橋となるべく努力しています。

## たびさき つか えいかい わ 旅先で使える英会話

生涯学習課と野木町国際交流協会との協働講座である動画を見ながら英語を学習する『旅先で使える英会話 - インドネシア編』が3月に3回にわたって行われました。インドネシアが18,000もの島からなっている理由や、84%の国民がイスラム教徒である一方で、実はヒンドゥー教や仏教を信仰する人もいる多民族国家であること。英語を通して新



しい知識を学ぶことは、常に新鮮な体験です。さらに、バリ島のお土産であるドリームキャッチャーに関する話も興味深かったです。次回は11月頃に、当協会で行っている日本語教室に5人も勉強に来ているスリランカを訪れる予定です。また、現在の内容に即し、次回からタイトルを『動画で学ぶ英会話』に変更いたします。

## 【野木町煉瓦窯を英語で学んでみよう】

本協働講座の目的は、野木町の象徴の一つである煉瓦窯に関する知識を、英語講師と共に学び、それを活かして町を訪れる観光客に的確に案内できるガイドを育成することです。この講座では、2月に計4回のセッションを実施しました。参加者たちは、煉瓦窯の全体的な構造や製造プロセスについて理解を深めました。さらに、煉瓦窯に関する基本的な英語フレーズや表現を習得し、実際の英語ガイド活動に必要な進行や案内の方法についても多くの受講生が習熟しました。これにより、英語でのガイド活動に対応できるようになりました。



## 【本年4月現在の日本語教室の学習者は次の通りです】

ベトナム：8名、スリランカ：5名、インドネシア：5名、ネパール：2名  
合計：20名

どのような勉強をしているのか、ご興味がある方は、いつでも教室を覗いてみてください。歓迎いたします。

## 【会員募集】

異文化交流にご興味のある方、是非当協会会員になってください。  
年会費 1,000 円。手続きは公民館の窓口で行えます。